


平成28年度購入文化財一覧

【奈良国立博物館】(計2件)

<p>1</p>	<p>○種別 ○名称 ○員数 ○時代 ○品質・形状 ○寸法等 ○作品概要 ○購入金額</p>	<p><書跡> 西大寺伝法灌頂私記 末 (さいだいじでんぼうかんじょうしき まつ) 一卷 鎌倉時代～南北朝時代 14世紀 紙本墨書 卷子装 縦27.4cm 横660.3cm 西大寺の叡尊が正嘉2年(1258)3月に弟子の日浄房惣持と円真房栄真に伝法灌頂を授けた際の儀式次第をまとめたもの。本品はこの『私記』2巻のうち後半(「末」巻)を書写したもので、奥書等はないが、14世紀頃の書写と推定している。『私記』の前半は江戸時代の写本によりすでに内容が知られているが、後半の本品は新出資料であり、これで初めて『私記』の全容が明らかとなる。伝法灌頂は密教の秘儀であり、西大寺におけるその実態を伝える資料として極めて高い学術的価値を有する。 1,800,000円</p>	
<p>2</p>	<p>○種別 ○名称 ○員数 ○時代 ○品質・形状 ○寸法等 ○作品概要 ○購入金額</p>	<p><書跡> 般若心経および維摩経問答(法隆寺伝来) (はんによしんぎょうおよびゆいまきょうもんどう・ほうりゅうじでんらい) 一卷 鎌倉時代 13～14世紀 紙本墨書 卷子装 縦32.0cm 長313.5cm 般若心経2巻分と維摩経問答を台紙上に貼り込んだもの。奥書に「法隆寺心経会時也」「嘉禄二年正月十三日」などとあり、法隆寺において数百から数万巻におよぶ般若心経を読誦・供養する法会で書写されたものと分かる。史料上確認出来る法隆寺の心経会は本品の約100年後であり、貴重な最古例となる。維摩経問答は、維摩経に関する問答に表白が付記されたもので、奥書に「建永元年六月金善口得業御房(法隆寺/東院)書了」とある。法隆寺内における教学的活動を伝える史料として貴重な品である。 3,240,000円</p>	